

ぺこばさん出演！山口さやか先生と乃村俊史先生と  
**HS（化膿性汗腺炎）について学ぶトークセッションを6月6日（土）に生配信！**  
**「その肌トラブル、様子見で大丈夫？実は化膿性汗腺炎かも？迷ったらひふ科へ！」**

— 6月の第1週は化膿性汗腺炎（HS）疾患啓発週間 —

ユーシービージャパン株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：菊池 加奈子）は、6月6日（土）に、「化膿性汗腺炎（かのうせい汗せんえん）〔HS：Hidradenitis suppurativa〕」の疾患啓発を目的としたトークセッション「その肌トラブル、様子見で大丈夫？実は化膿性汗腺炎かも？迷ったらひふ科へ！」を開催し、ユーシービージャパン公式 YouTube チャンネル（<https://www.youtube.com/c/UCBJapan>）にて生配信いたします。

化膿性汗腺炎啓発週間

「HS：化膿性汗腺炎」を知るイベントをYouTubeライブにて配信

その肌トラブル、  
**様子見で  
 大丈夫？**

かのうせい汗せんえん  
 実は化膿性汗腺炎かも？  
 迷ったらひふ科へ！

6.6 (土)  
 17:00  
 START

配信場所  
 ユーシービージャ  
 パン公式YouTube  
 チャンネル

参加費  
 参加費無料

TALK GUEST

乃村俊史  
京都大学医学部  
 皮膚科 専攻

山口さやか  
琉球大学大学院  
 医学研究科  
 皮膚科学 講師

ぺこば  
（シヤラペイ / 松陰寺太勇）  
 皮膚科 講師

ユーシービージャパン株式会社

6月の第1週は、化膿性汗腺炎（HS）に関する理解促進および普及啓発を図ることを目的として、「化膿性汗腺炎（HS）疾患啓発週間」と定められています。化膿性汗腺炎（HS）は、わきの下やお尻、太ももの付け根、関節部などに発生し、皮膚の痛みや腫れ、炎症を伴う慢性の皮膚疾患です。進行すると激しい痛みを引き起こし、日常生活に支障をきたすこともあります。この疾患は早期の受診と適切な治療が重要であるとされる一方で、認知度が低く、確定診断までに平均7年ほどを要するのが現状です<sup>1</sup>。当社は、この疾患啓発週間に合わせ、公式 YouTube チャンネルの生配信を通じて、より多くの方々に本疾患への正しい理解を深め、早期に適切な治療につなげていただくことを目的として、本イベントを企画しました。

本イベントでは、お笑いコンビ・ぺこばのシュウペイさん・松陰寺太勇さんをゲストに迎え、肌トラブルとして見過ごされがちな皮膚疾患「化膿性汗腺炎（HS）」についての理解を深めるトークセッションを実施します。また、琉球大学大学院 医学研究科 皮膚科学講座・講師の山口さやか先生からは化膿性汗腺炎（HS）治療法や治療選択について、筑波大学医学医療系 皮膚科教授 乃村俊史先生からは、医学的な知見に基づく疾患についてお話しいただきます。

本イベントを通じて、ご自身の肌と向き合うことの大切さを発信するとともに、「皮膚の健康管理」を日々の生活の中でより身近なものとして捉え、気になる症状があれば気軽に、そして早めに皮膚科へ相談するきっかけとなることを目指します。

なお、本イベントはユーシービージャパン公式 YouTube チャンネルにて生配信を実施します。ご自宅からでも気軽にご視聴いただけるほか、終了後にはアーカイブ配信も予定しています。生配信での視聴が難しい方や、繰り返しでご覧になりたい方は、ぜひアーカイブ動画にてご視聴ください。

本イベントに関する報道関係者様のお問合せ先：ユーシービージャパン HS イベント広報事務局（PA Communication 内）

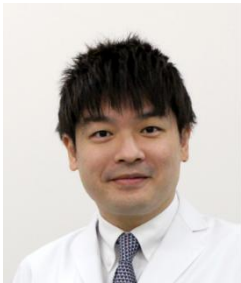
担当：川瀬・藤形・丸田・大木・小口 MAIL：ucb@pa-c.co.jp TEL：03-6447-0395

## 【開催概要】\*開催概要については一部変更になる可能性があります。

- イベントタイトル : その肌トラブル、様子見で大丈夫？実は化膿性汗腺炎かも？迷ったらひふ科へ！  
実施日 : 2026年6月6日（土）  
実施時間 : 17:00～17:45（予定）  
配信チャンネル : ユーシービージャパン公式 YouTube チャンネル (<https://www.youtube.com/c/UCBJapan>)  
ゲスト : 乃村俊史（筑波大学医学医療系 皮膚科 教授）  
山口さやか（琉球大学大学院 医学研究科 皮膚科学講座・講師）  
ぺこぱ／シュウペイ・松陰寺太勇（お笑いコンビ）  
トークセッション : これって病院に行くべき？／化膿性汗腺炎（HS）とは？／セルフチェックや治療方法を紹介(予定)  
参加費 : 無料／ユーシービージャパン公式 YouTube チャンネルにてご視聴いただけます。

## 【ゲストプロフィール】

### 乃村俊史（筑波大学医学医療系 皮膚科 教授）



#### <略歴>

2002年 北海道大学医学部 卒業  
2002年 北海道大学医学部附属病院 研修医  
2004年 市立釧路総合病院皮膚科 医員  
2005年 北海道大学病院皮膚科 医員  
2006年 北海道大学大学院医学研究科博士課程  
2008年 University of Dundee 人類遺伝学分野 研究員  
2010年 北海道大学病院皮膚科 助教  
2016年 北海道大学病院皮膚科 講師  
2020年 筑波大学医学医療系皮膚科 教授

### 山口さやか（琉球大学大学院 医学研究科 皮膚科学講座・講師）



#### <略歴>

2004年 琉球大学卒業  
沖縄中部徳洲会病院、初期研修  
2006年 開西病院皮膚科  
2008年 琉球大学皮膚科、医員  
2009年 琉球大学皮膚科、助教  
2010年 沖縄愛楽園、医師  
2016年 琉球大学大学院修了  
2017年 琉球大学皮膚科、講師  
日本皮膚科学会専門医、日本医真菌学会認定専門医

### ぺこぱ／シュウペイ・松陰寺太勇（お笑いコンビ）



お笑いコンビ。ボケ担当のシュウペイは1987年7月16日神奈川県出身。ツッコミ担当の松陰寺は1983年11月9日山口県出身。  
2008年 当時バイトの先輩と後輩だった2人がコンビ結成。  
ぐるぐるナインティナイン おもしろ荘2019にて優勝、M-1グランプリ2019 ファイナリスト第3位に。

#### 主な主演番組

NHK Eテレ「さんすうレスキュー！」[再放送]  
「Artistspoken」OCHA NORMA & ぺこぱ「のびしろ『おちゃべこ家族会議』」  
NTV「THE 突破ファイル」  
yab「ぺこぱのぼこべ」  
ABCテレビ「ぺこぱのまるスポ」[MC]

## 【化膿性汗腺炎（HS）について】

化膿性汗腺炎（HS）は、慢性かつ再発性の痛みを伴う消耗性の炎症性皮膚免疫疾患です<sup>2,3</sup>。主な症状は、炎症性結節、膿瘍、排膿性瘻孔（いくつかの結節や膿瘍が皮膚の下でつながり、トンネルようになった状態）で、好発部位として、腋窩や鼠径部、臀部、肛門周囲、乳房下部などに発症します<sup>2,3</sup>。化膿性汗腺炎(HS)は再発を繰り返し、病変部位の重度の痛みは患者さんのQOLに影響します<sup>2,3</sup>。HSは思春期以降の人にみられ、試験を実施したほとんどの国で人口の約1%が罹患しています<sup>2,3</sup>。本邦においては疫学調査がなされているものの正確な患者数や有病率は不明です。欧米では化膿性汗腺炎(HS)患者の約三分の一に化膿性汗腺炎(HS)の家族歴がありますが、日本においては2~3%と報告されています<sup>4</sup>。痛み、排膿、瘢痕といった症状は、身体的な負担だけではなく、周囲の目が気になることで、社会的孤立や自尊心の低下につながり、対人関係、教育、仕事など、あらゆる生活および精神領域に影響を及ぼす可能性があります<sup>2,4,5</sup>。

化膿性汗腺炎（HS）についてのより詳しい情報はこちら

▶ひふ科で話そう HS（化膿性汗腺炎）：<https://ucbcares.jp/patients/hs/ja>

## 【UCB（ユーシービー）について】

UCB（[www.ucb.com](http://www.ucb.com)）は、ベルギーのブリュッセルに本社を置くグローバルバイオフーマで、ニューロロジーや免疫・炎症領域の重篤な疾患と共に生きる患者さんのより良い生活の実現を目指して、革新的な医薬品の研究開発ならびにソリューションの提供に力を注いでいます。約40カ国に拠点を置き、従業員数は10,000名あまりを擁しており、2025年の収益は77億ユーロでした。UCBはユーロネクスト・ブリュッセル証券市場に上場しています。

ユーシービージャパン株式会社はUCBの日本法人として1988年に設立され、抗てんかん薬、関節リウマチ治療薬および乾癬治療薬を中心に医薬品事業を展開してきました。2023年より希少疾患領域でも治療薬の販売を開始しました。患者さんにとっての価値を創造するバイオフィーマリーダーとして、従来の治療で十分な改善が得られなかった患者さんに、新たな治療の選択肢を提供することを目指しています。ユーシービージャパンの詳細については<https://www.ucbjapan.com>または、[LinkedIn](#)、[YouTube](#)をフォローしてご覧ください。

1 Saunte DM, et al. Br J Dermatol. 173 (6) :1546-1549, 2015

2 Jemec GBE. Clinical practice. Hidradenitis suppurativa. N Engl J Med. 2012;366(2):158-164.

3 Sabat R, Jemec GBE, Matusiak L, et al. Hidradenitis suppurativa. Nat Rev Dis Primers. 2020;6:18.

4 化膿性汗腺炎診療の手引き策定委員会、葉山惟大、井上里佳、大槻マミ太郎ほか、「化膿性汗腺炎診療の手引き 2020」『日本皮膚科学会雑誌』2021年 131 巻 1号 p.1-28

5 Koumaki D, Ourania E, Bozi E, et al. Perspectives On Perceived Stigma And Self-Stigma In Patients With Hidradenitis Suppurativa. Clin Cosmet Investig Dermatol. 2019;12:785-790.

**本イベントに関する報道関係者様のお問合せ先:** ユーシービージャパン HS イベント広報事務局（PA Communication 内）

担当：川瀬・藤形・丸田・大木・小口 MAIL：[ucb@pa-c.co.jp](mailto:ucb@pa-c.co.jp) TEL：03-6447-0395